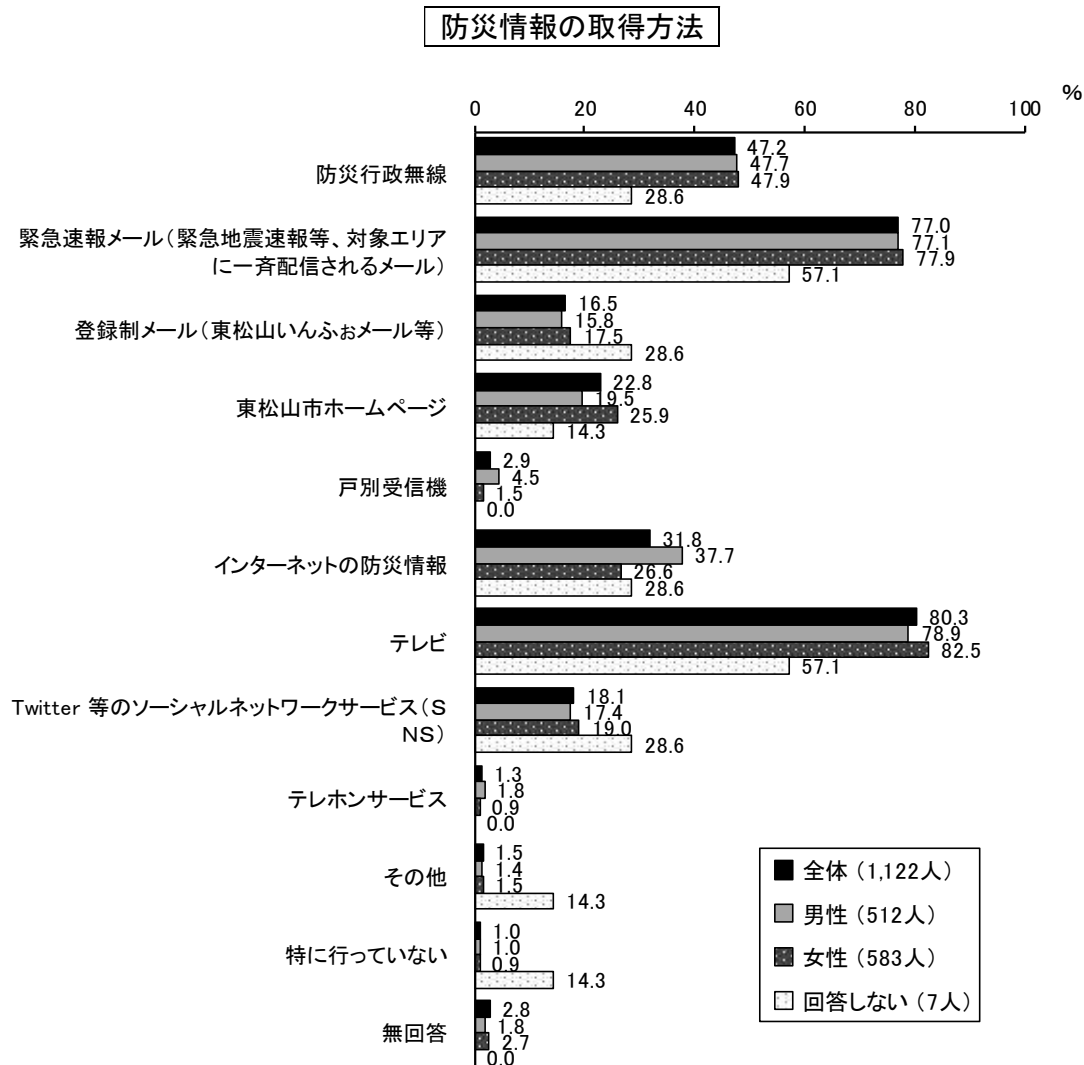


5 生活基盤の分野について

5-1 防災情報の取得方法

◆「テレビ」80.3%、「緊急速報メール」77.0%◆

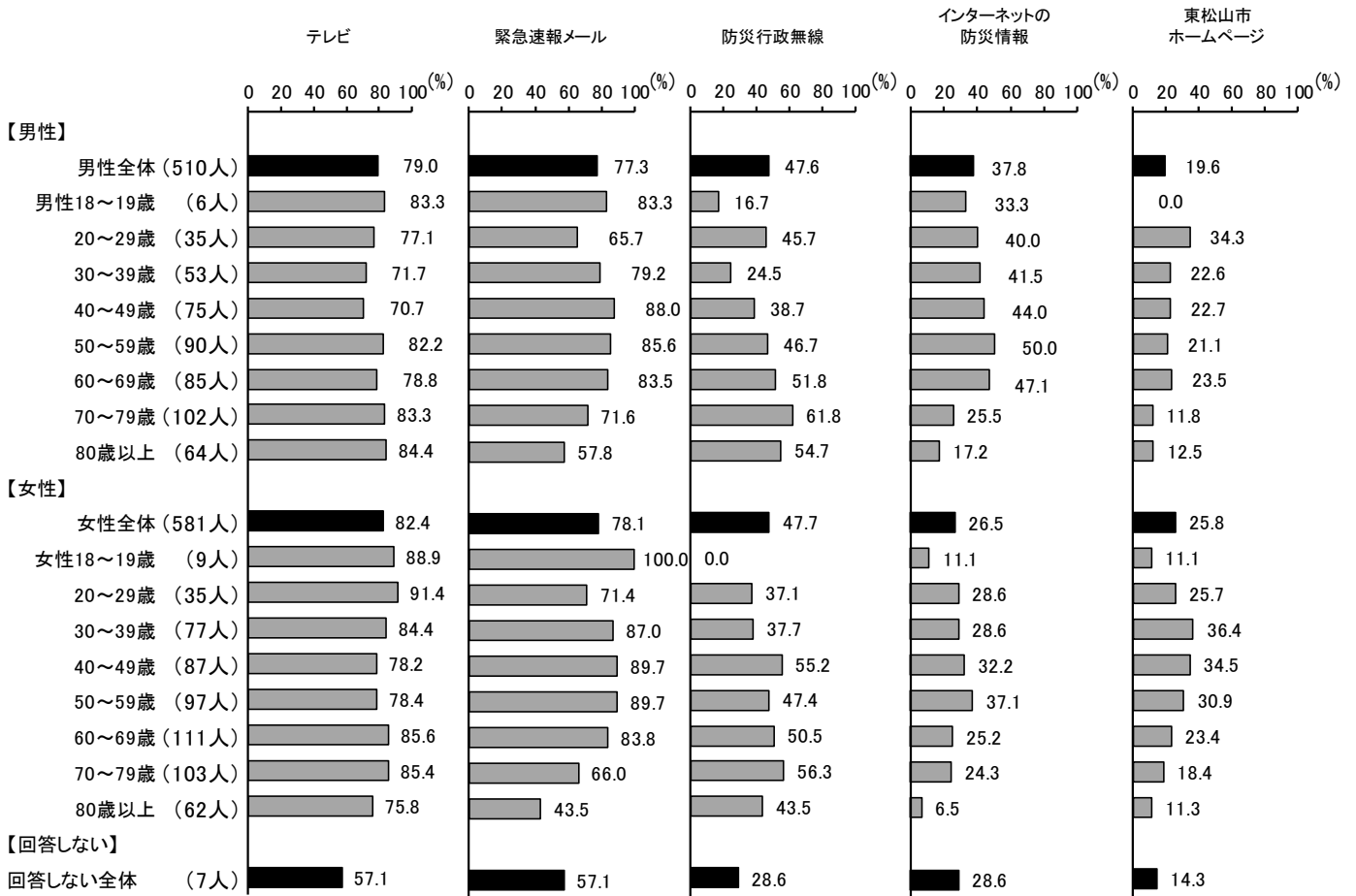
問 12. あなたは、災害時の防災情報（避難情報）をどのように取得していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「テレビ」の割合が80.3%と最も高く、次いで「緊急速報メール（緊急地震速報等、対象エリアに一斉配信されるメール）」の割合が77.0%、「防災行政無線」の割合が47.2%となっています。

性別でみると「東松山市ホームページ」は女性（25.9%）が男性（19.5%）を6.4ポイント、「テレビ」は女性（82.5%）が男性（78.9%）を3.6ポイント上回っています。一方、「インターネットの防災情報」は男性（37.7%）が女性（26.6%）を11.1ポイント上回っています。

防災情報の取得方法（上位5位 性・年代別）



性・年代別で見ると「テレビ」は男性・女性ともにほとんどの年代で7～8割台となっていますが、女性の20～29歳では91.4%となっています。

「緊急速報メール」は男性の40～49歳で88.0%、女性の18～19歳で100.0%と最も高くなっています。一方、男性・女性ともに80歳以上でそれぞれ57.8%、43.5%と低くなっています。

「防災行政無線」は男性・女性ともに70～79歳でそれぞれ61.8%、56.3%と最も高くなっています。一方、男性・女性ともに18～19歳でそれぞれ16.7%、0%と低くなっています。

「インターネットの防災情報」は男性・女性ともに80歳以上で低く、男性が17.2%、女性が6.5%となっています。

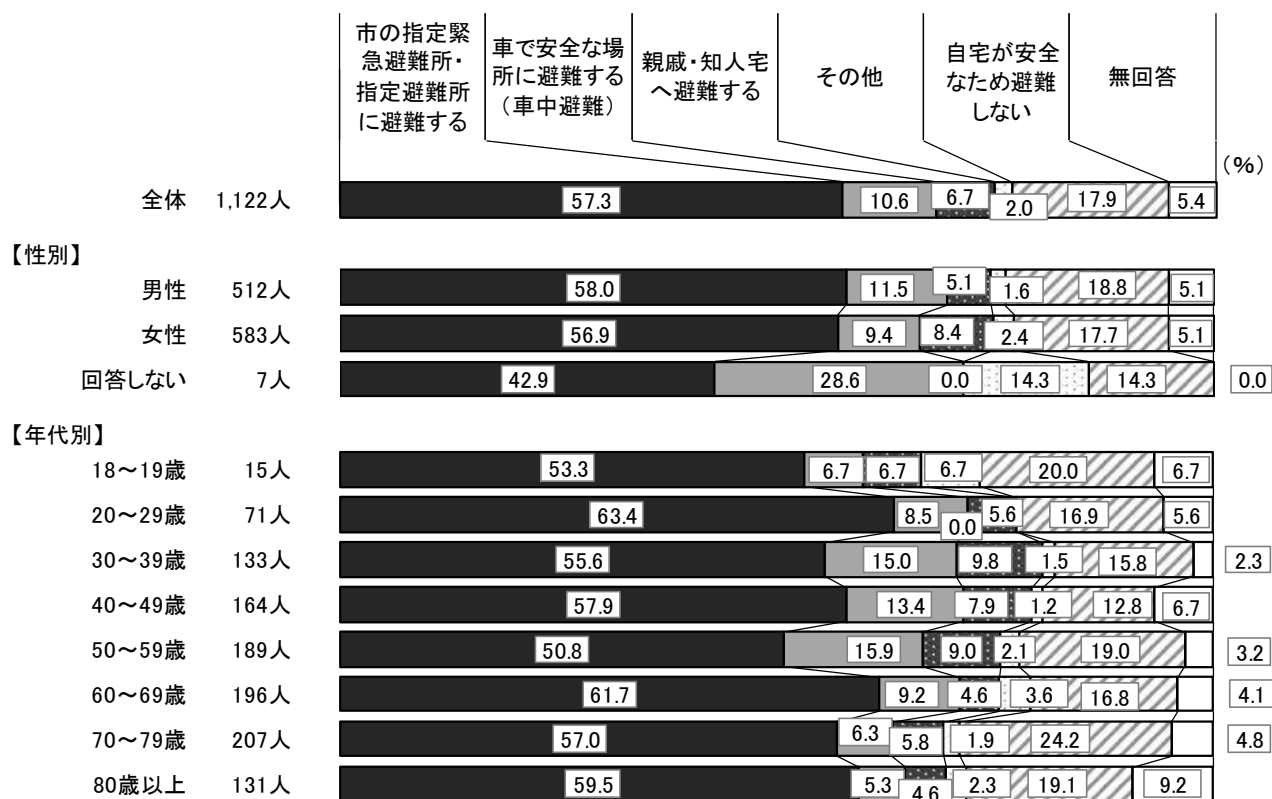
「東松山市ホームページ」は男性では20～29歳で34.3%、女性では30～39歳で36.4%と最も高くなっています。

5-2 避難行動を求められたら主に行うこと

◆「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する」57.3%、「自宅が安全なため避難しない」17.9%◆

問 13. あなたは、避難行動を求められたら主にどのように避難を行いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

避難行動を求められたら行うこと



全体では「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する」の割合が57.3%と最も高く、次いで「自宅が安全なため避難しない」の割合が17.9%、「車で安全な場所に避難する（車中避難）」の割合が10.6%となっています。

性別でみると「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」で男性（58.0%）が女性（56.9%）を1.1ポイント上回っています。

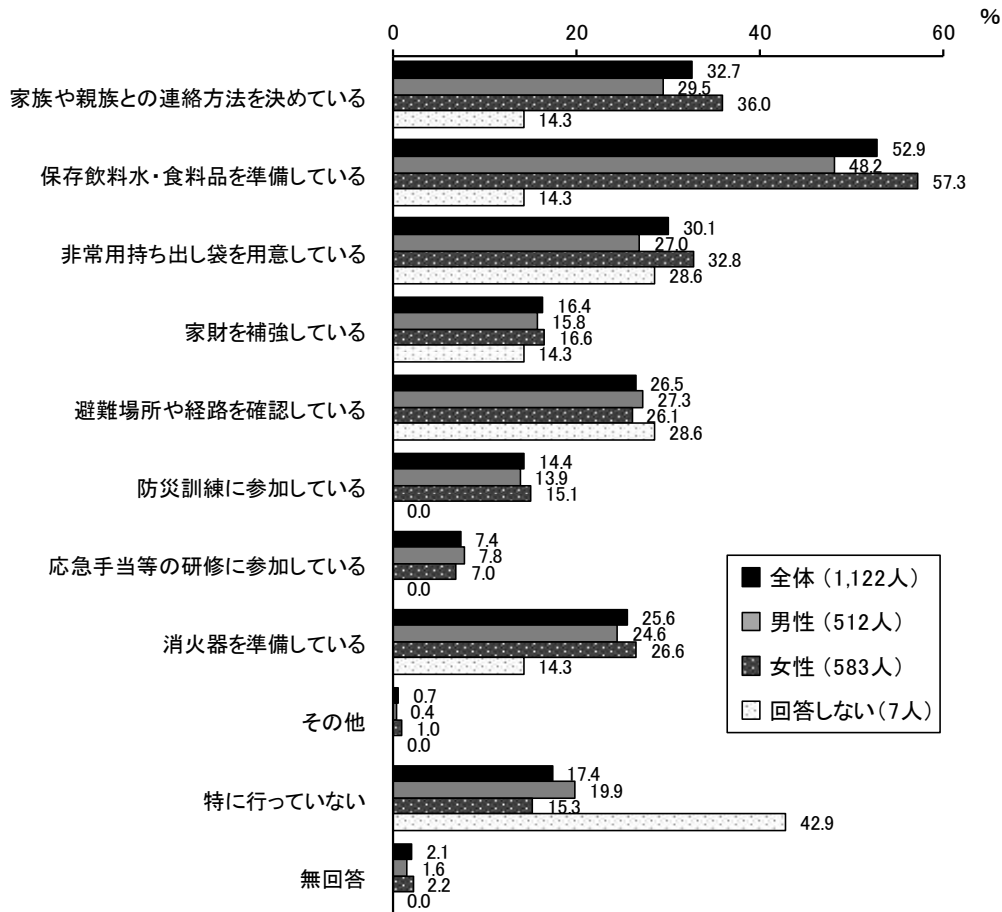
年代別でみると「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する」は20～29歳、60～69歳でそれぞれ63.4%、61.7%と他の年代に比べ高くなっています。

5-3 災害に備えて行っていること

◆「保存飲料水・食料品を準備している」52.9%、「家族や親族との連絡方法を決めている」32.7%◆

問 14. あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

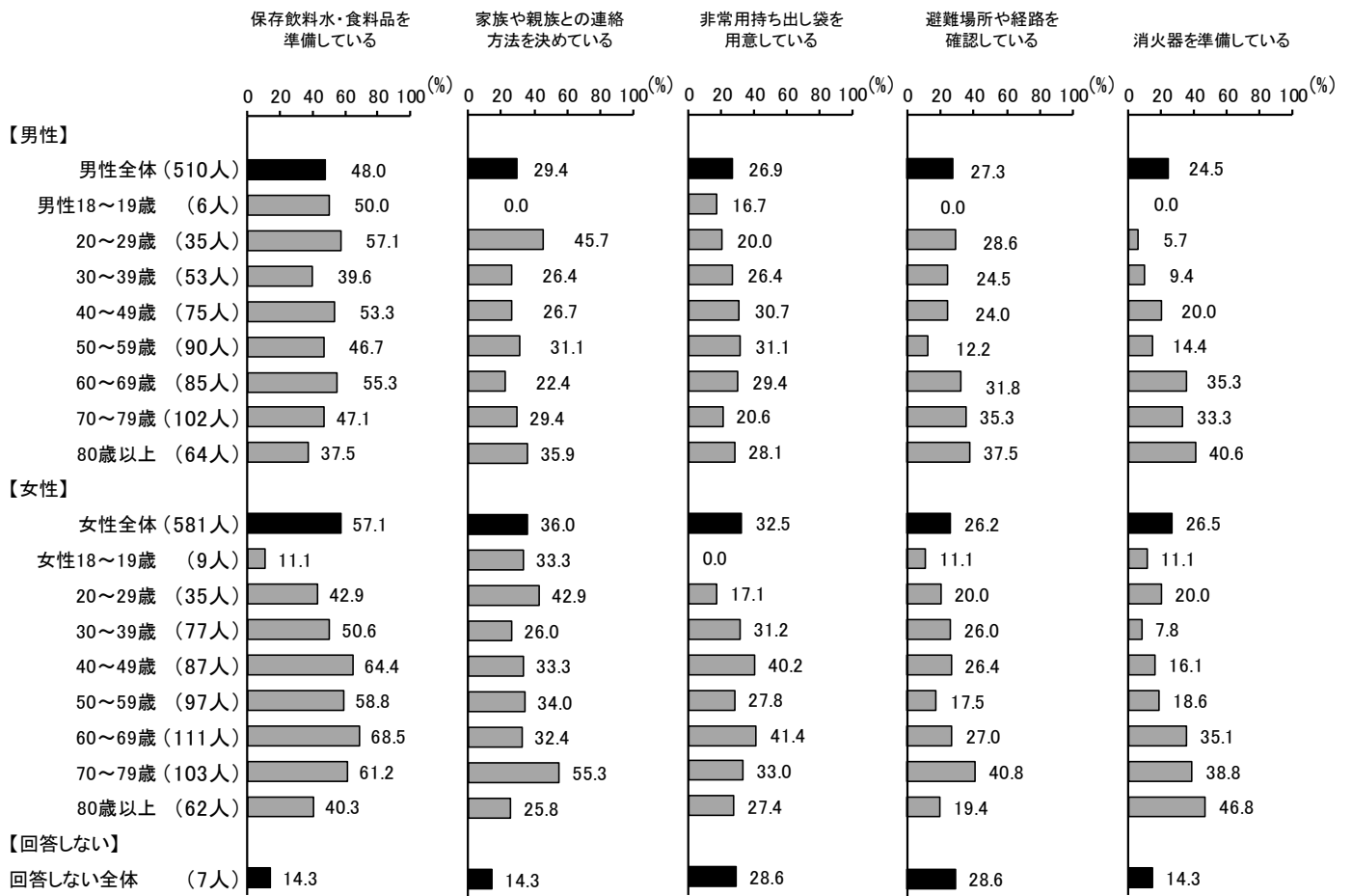
災害に備えて行っていること（全体・性別）



全体では「保存飲料水・食料品を準備している」の割合が52.9%と最も高く、次いで「家族や親族との連絡方法を決めている」の割合が32.7%、「非常用持ち出し袋を用意している」の割合が30.1%となっています。

性別でみると「保存飲料水・食料品を準備している」で女性(57.3%)が男性(48.2%)を9.1ポイント上回っています。一方、「避難場所や経路を確認している」で男性(27.3%)が女性(26.1%)を1.2ポイント上回っています。

災害に備えて行っていること（上位5位 性・年代別）



性・年代別でみると「保存飲料水・食料品を準備している」は女性の40～49歳、60～69歳、70～79歳で6割以上と高くなっています。

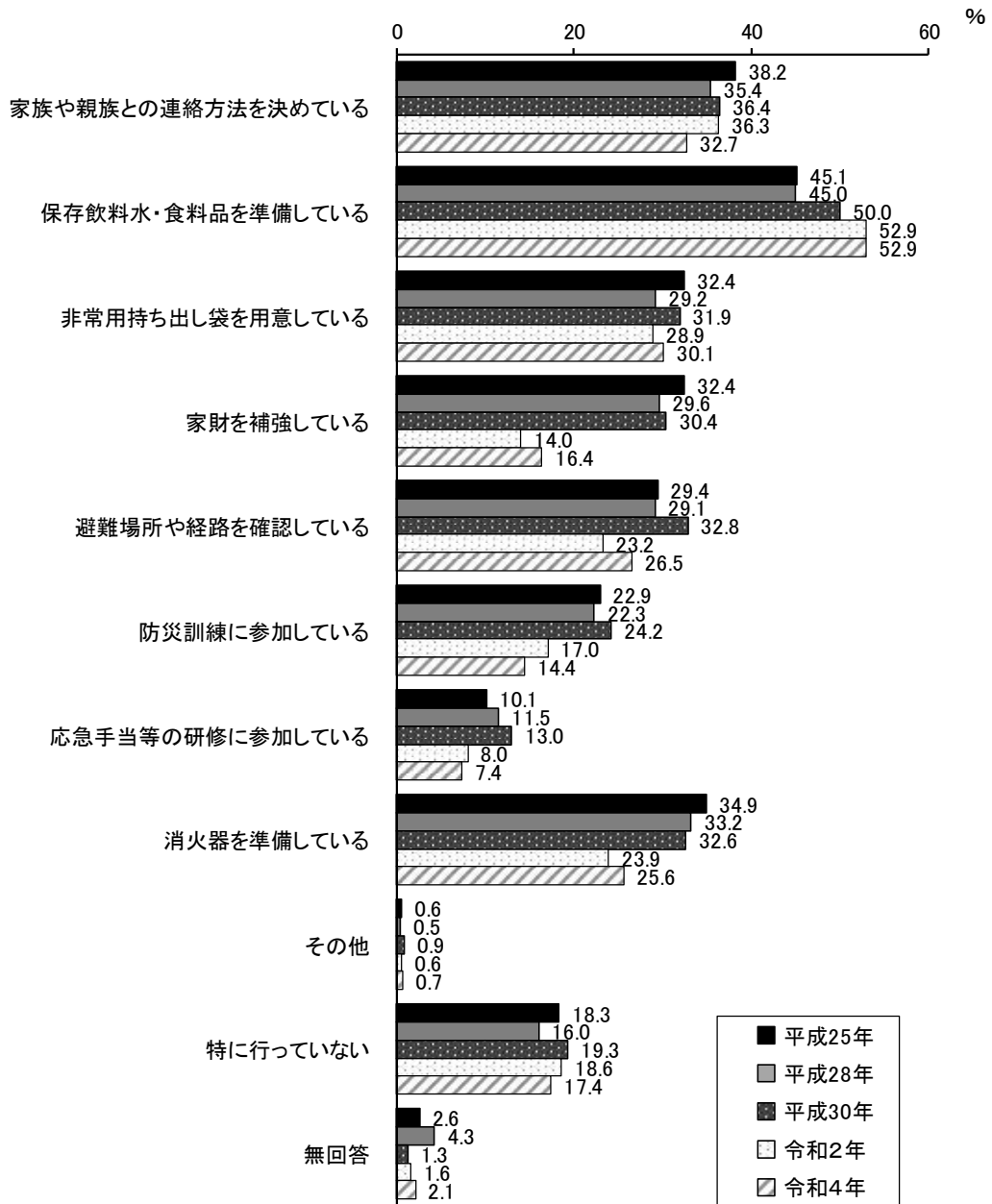
「家族や親族との連絡方法を決めている」は男性の20～29歳、女性の20～29歳、70～79歳で4割～5割半ばと高くなっています。

「非常用持ち出し袋を用意している」は女性で40～49歳、60～69歳が4割以上となっています。

「避難場所や経路を確認している」は男性の70～79歳、男性の80歳以上、女性の70～79歳代が3割台半ば～4割と高くなっています。

「消火器を準備している」は男性・女性ともに60～69歳以上で3割以上と高くなっています。

災害に備えて行っていること（経年比較）



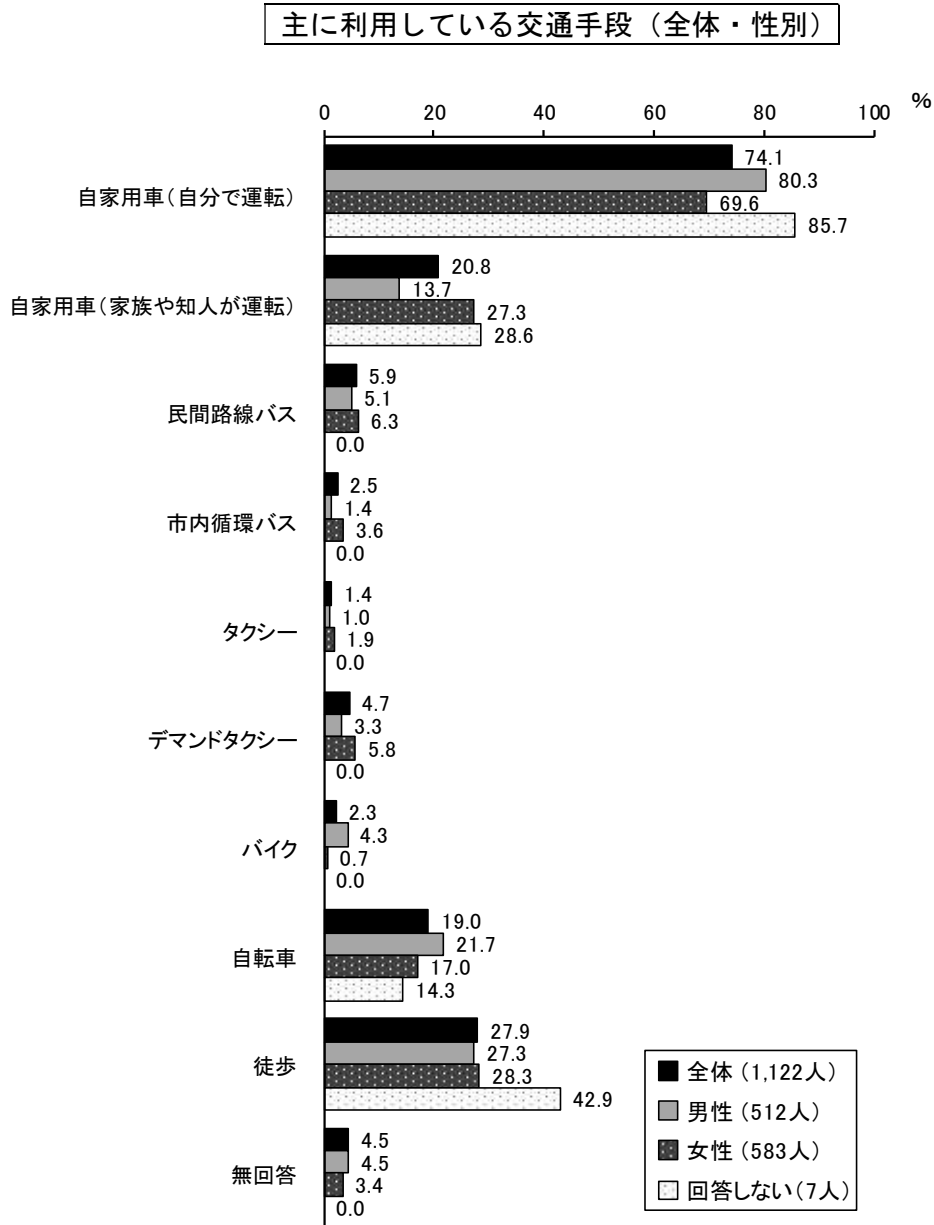
令和2年度調査と比較すると「避難場所や経路を確保している」が3.3ポイント増加している。一方、「家族や親族との連絡方法を決めている」が3.6ポイント減少しています。

平成25年度調査以降、「保存飲料水・食料品を準備している」が増加傾向にあります。

5-4 主に利用している交通手段

◆「自家用車（自分で運転）」74.1%、「徒歩」27.9%、「自家用車（家族や知人が運転）」20.8%◆

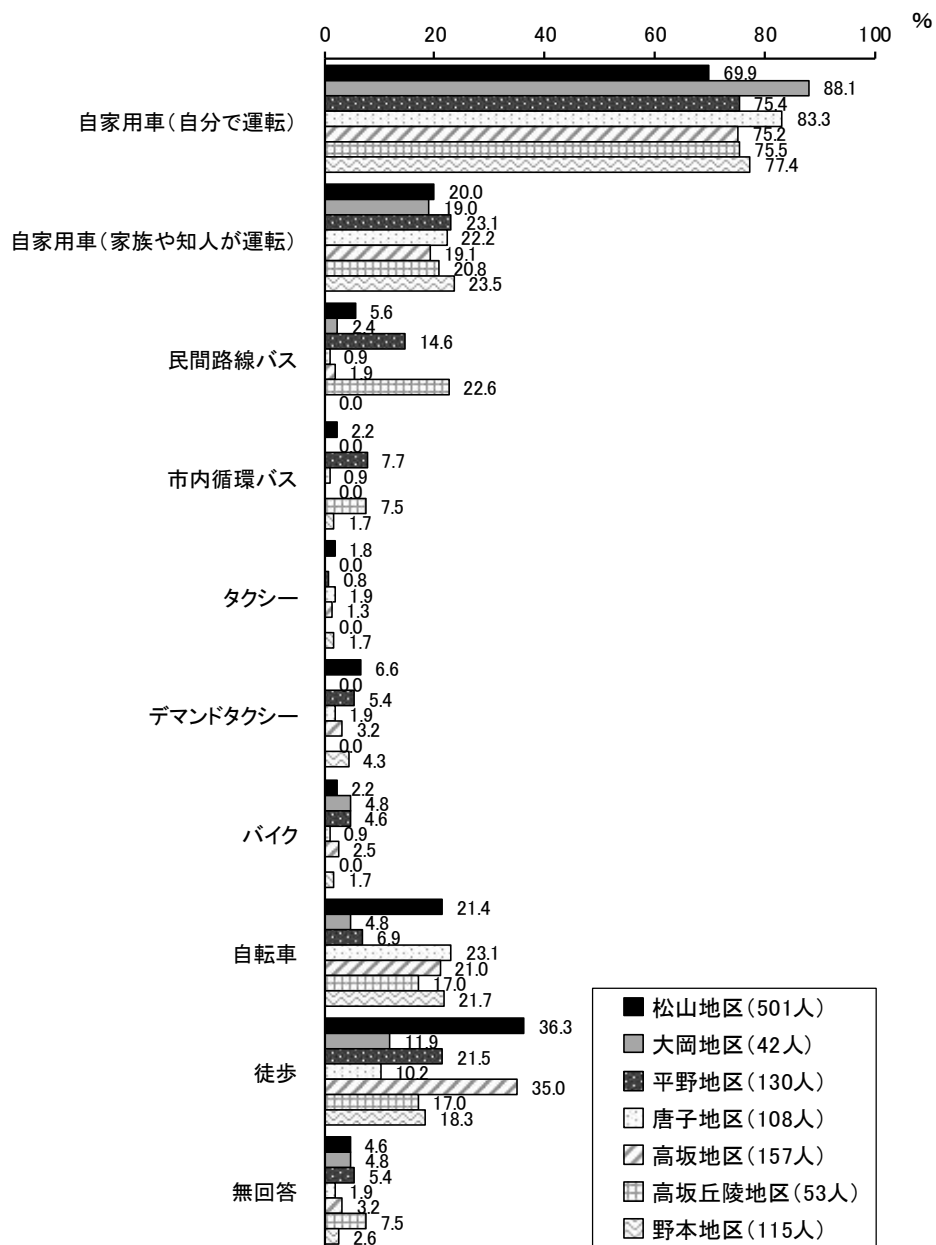
問 15. あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。



全体では「自家用車（自分で運転）」の割合が 74.1%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 27.9%、「自家用車（家族や知人が運転）」の割合が 20.8%となっています。

性別で見ると「自家用車（自分で運転）」は男性（80.3%）が女性（69.6%）を 10.7 ポイント、「自転車」は男性（21.7%）が女性（17.0%）を 4.7 ポイント上回っています。一方、「自家用車（家族や知人が運転）」は女性（27.3%）が男性（13.7%）を 13.6 ポイント上回っています。

主に利用している交通手段（地区別）



地区別でみると、全ての地区で「自家用車（自分で運転）」が最も高くなっています。特に、大岡地区で88.1%と最も高くなっています。

「徒歩」は、松山地区で36.3%、高坂地区で35.0%と高くなっています。

「自転車」は松山地区で21.4%、唐子地区で23.1%、高坂地区で21.0%、野本地区で21.7%と高くなっています。

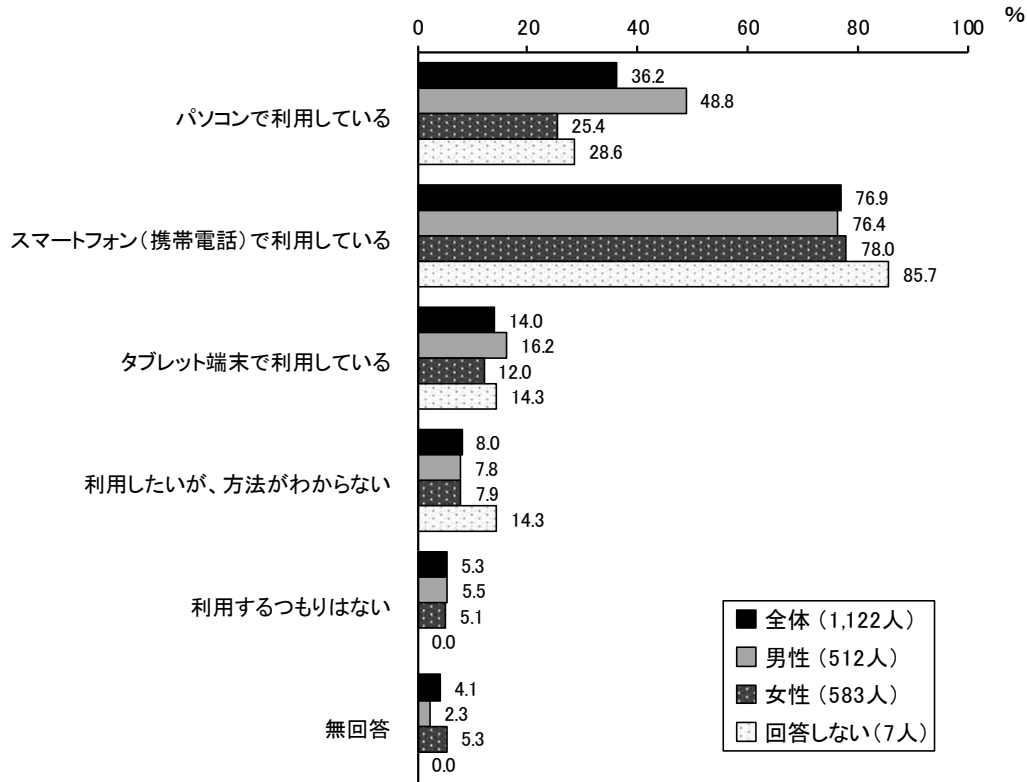
「民間路線バス」は高坂丘陵地区で22.6%、平野地区で14.6%と高くなっています。

5-5 インターネットの利用状況

◆「スマートフォン（携帯電話）で利用している」76.9%◆

問 16. あなたは、ホームページを見たり、インターネットを利用したりしていますか。
あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

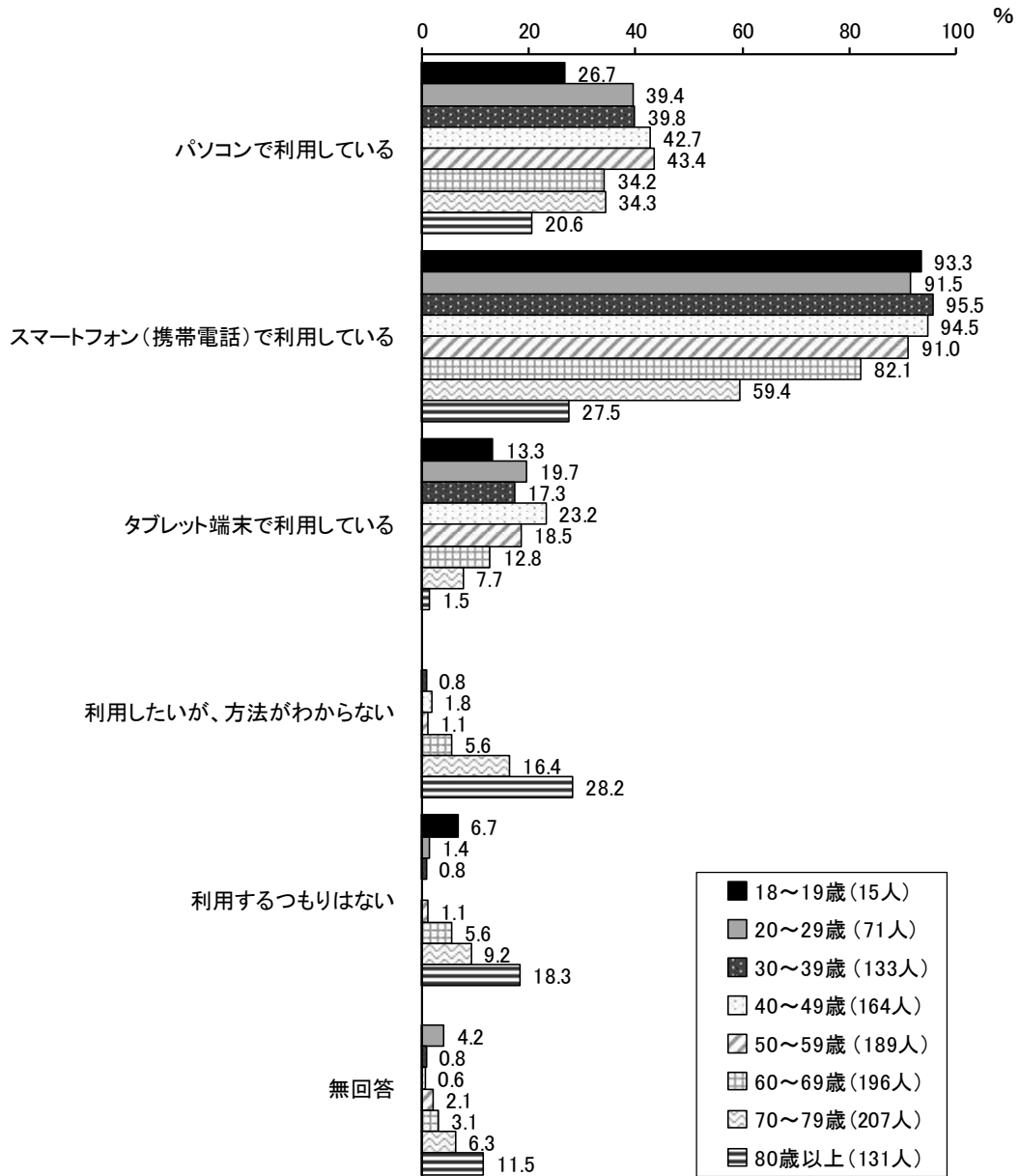
インターネットの利用状況（全体・性別）



全体では「スマートフォン（携帯電話）で利用している」の割合が76.9%と最も高く、次いで「パソコンで利用している」の割合が36.2%、「タブレット端末で利用している」の割合が14.0%となっています。

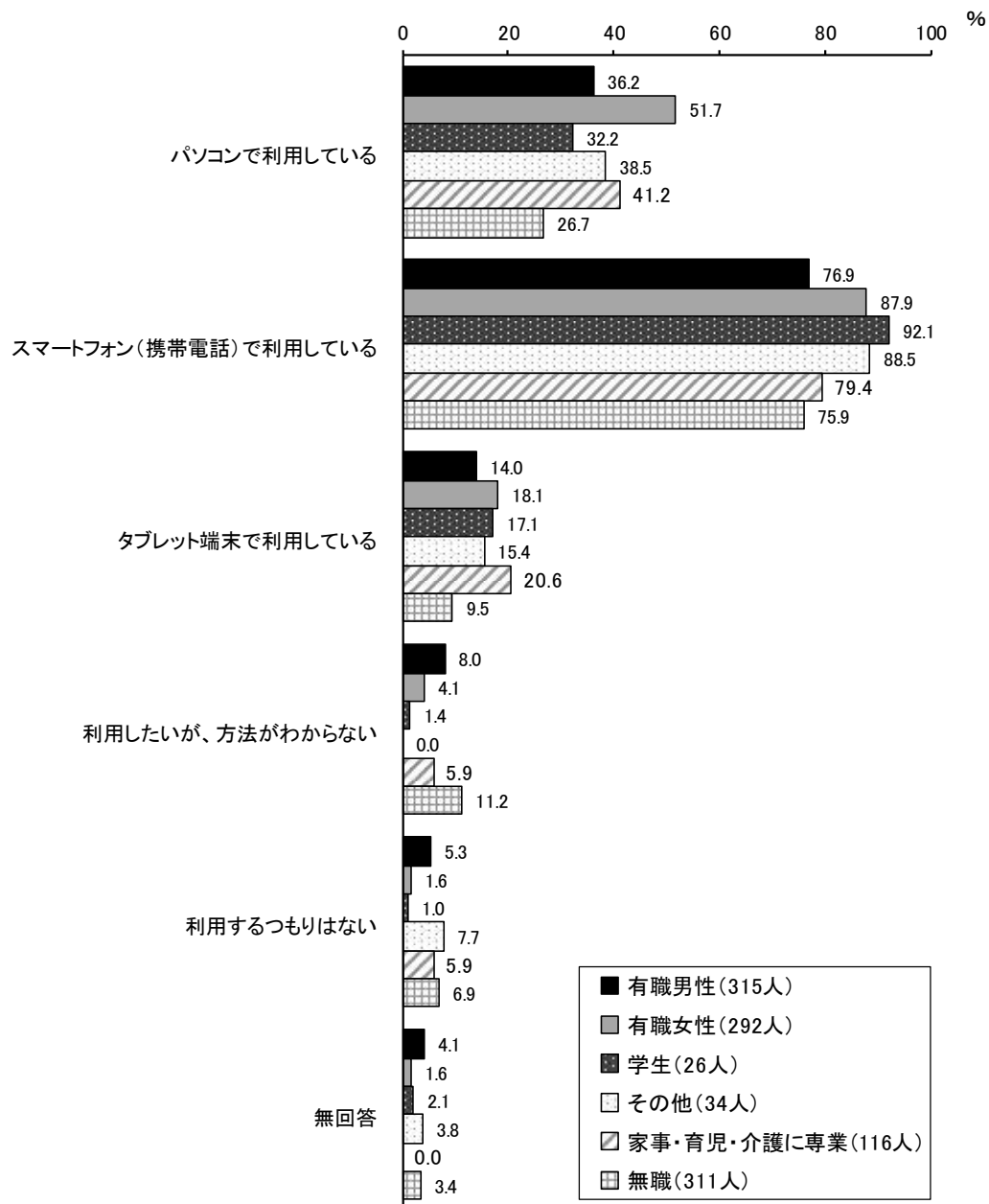
性別で見ると「パソコンで利用している」で男性（48.8%）が女性（25.4%）を23.4ポイントと大きく上回っています。また「タブレット端末で利用している」でも男性（16.2%）が女性（12.0%）を4.2ポイント上回っています。

インターネットの利用状況（年代別）



年代別でみると「パソコンで利用している」は40～49歳、50～59歳で4割を超え、他の年代に比べやや高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）で利用している」は18～19歳から50～59歳代までで9割以上を占め高くなっています。また「タブレット端末で利用している」は40～49歳で23.2%と他の年代に比べ高くなっています。「利用したいが、方法がわからない」「利用するつもりはない」はそれぞれ80歳以上で最も高くなっています。

インターネットの利用状況（職業別）



職業別でみると「パソコンで利用している」は、有職女性で 51.7%と最も高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）で利用している」は学生で 92.1%と最も高く、有職女性も 87.9%と高くなっています。